

民主島根

2021年
3.28
第1381号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

市議選、総選挙での党躍進を 島根原発再稼働中止を

出雲 笠井 衆院議員、大平 前衆院議員、むこせ 衆院2区から迎え演説会



声援に応える(右から)吉井、むこせ、笠井、大平、ごとう各氏(出雲市)



市長・市議選、総選挙勝利へ決意を固め合う大平氏ら(松江市)

出雲市で14日、日本共産党の笠井亮衆院議員を迎えた演説会が開かれました。笠井氏は1増の2議席をめざす4月4日告示(11日投票)の同日市議選や総選挙での党躍進で野党連合政権を実現し、「島根原発2号機の再稼働を中止させよう」と呼びかけました。

大平よしのぶ前衆院議員は、島根原発のすぐそばにある活断層などの問題を示し、「市議選、総選挙での党躍進で再稼働ノ」

1の審判を下そう」と呼びかけました。むこせ慎一衆院島根2区予定候補も訴えま

松江 2号機再稼働ノー 吉儀市長予定候補勝利へ 大平氏迎え「党と後援会の決起集会」

日本共産党東部地区委員会では19日夜、大平よしのぶ前衆院議員を迎え、松江市内で党と後援会の決起集会を開きました。同日、市長選への出馬を表明した松江市議の吉儀けい子氏も「島根原発2号機の再稼働は認めない」と訴えました。

市長選には、元日本政策投資銀行松江事務所長の上定昭仁氏(48)も自民・公明・国民民主、連合推薦、新2、元松江市長(自民)の舟木けんじ(写真)も「島根原発2号機の再稼働は認めない」と訴えました。



市議選、総選挙勝利へ決意を固め合う大平氏ら(松江市)

吉儀氏の略歴 名古屋 市立保育短期大学卒。松江市乃木保育所に15年間保育士として勤務後、旧東出雲町議を7期。2013年、松江市議に当選(2期目)。

市議選、総選挙勝利へ決意を固め合う大平氏ら(松江市)

16日に閉会した2月県議会では「緊急事態宣言の影響を受ける飲食店等への支援を求める意見書」が全会一致で可決となりました。日本共産党の大国陽介県議が提案理由説明に立ち、「感染が抑えられている地域でも飲食店の利用を控える傾向が非常に強く、支援措置がないのは著しく不公平で早急に是正すべき」と強調しました。

「宣言地域同様に飲食店に給付」「最低賃金改善」など意見書

2月定例県議会 共産党県議団が働きかけ可決へ

策の拡充を求める意見書の採択を求める請願書(紹介議員・共産党県議団、自民議連の五百川純寿会長、大屋俊弘会長代行、坪内涼二県議、民主県民クラブの須山隆会長、白石恵子幹事長)が採択され、本会議にて国への意見書が賛成多数(無党派1人が反対)で可決されました。

「今日は宝物をもつてきました」。田中はじめ松江市長は街頭演説で「田中さん、がんばれ」と書かれた子どもたちの手紙を紹介した。「四年前、街頭で『原発のない松江を子どもたちに手渡したい』と演説をさせていただいた時、聴いていた小学四年、二年の二人が『いまのお話に賛成します』と拍手して書いてくれた宝物です」。田中市長はこの四年、いつも子どもたちの手紙を見てから市議会に向かっていたという。福島原発事故から十年、「原発をなくしてほしい」というのは多数の人たちの切実な願いだ。世論調査では76%が脱原発を志向。再び深刻な原発事故が起きる可能性がある」と答えた方は90%に上った(山陰中央新報7日付)▼司法の判断も下った。18日には茨城県の東海第2原発について「防災体制は極めて不十分で安全性に欠け、人格権侵害の具体的危険がある」と水戸地裁が運転差し止めを命じる判決を言い渡した▼原発を動かさなくても電力は足りている。いま日本は原発を再稼働させ原発依存社会を続けるのか、再稼働を許さず「原発ゼロの日本」をめざすのか、大きな分かれ道に立っている。原発を「重要なベースロード電源」などといった再稼働を狙う自公政権に対し、野党は「原発ゼロ基本法案」を国会に提出し、「原発ゼロの日本」へ全力をあげている▼原発事故から十年たつて今なお避難生活を余儀なくされている福島の現実。もし島根原発で深刻な原発事故が起きれば、四月の政治戦では「原発のない松江を」と子どもたちの願いにこたえる結果を出したい。(後)

鼓動